

平成30年度の外来種対策事業について

参考資料 1

環境部自然環境課

環境部自然環境課では、今年度の外来種対策事業として、以下の項目を実施した。

1 外来種対策研修会

地域で特に問題となっている侵略的外来種対策について、市町村やNPO等を対象とした研修会を開催した。

	第1回研修会	第2回研修会
開催日	平成30年11月13日(火)	平成30年11月27日(火)
場所	自治研修所	本庁舎

内 容：・県内における外来種対策
・外来生物法
・都市域における外来生物問題
・侵略的外来アリの生態・防除
・外来生物防除の必要性
・水辺の外来種問題

出席者(延べ人数)：

市町村職員73名、NPO職員等41名、県職員他46名 合計160名

2 専門家の派遣

外来種対策について、知識・経験が不十分な市町村に対して専門家を派遣し、指導・助言を行った。

実績： アルゼンチンアリ等の外来アリ(5件)

3 新たに発見された外来種の対策

平成30年12月に、碧南市内の堀川において、外来種・*Spartina anglica*(スパルティナ・アングリカ)が国内で初めて生育確認されたため、根絶に向けた効果的な駆除方法の検討することを目的として、国、県、市を構成員とした連絡会議を設置していく。

4 侵略的外来種の現状把握(本検討会：環境調査センターが実施)

条例公表種、特定外来生物、そのほか悪影響が懸念される外来種の生息生育情報を把握し、今後の対策の基礎資料を集積していく。

スケジュール H28年度：淡水域、H29年度：陸域、H30年度：沿岸域
H31年度：補足調査

5 ヒアリに係る対応

○愛知県内では、平成29年6月30日に名古屋港（鍋田ふ頭（弥富市））でヒアリが確認されて以降、これまでに10事例確認されている（今年度：4事例）。

番号	確認地点	確認日	確認状況	備考	積出港
1	弥富市 （名古屋港）	(H29) 6月30日	コンテナヤード：コンテナ外部	7 個体	南沙港 （中国）
2	春日井市	7月10日	事業者敷地内：倉庫	1 個体（内陸部初）	南沙港
	飛島村 （名古屋港）	7月12日		コンテナヤード：コンテナ内	
3			弥富市 （名古屋港）	8月4日	空コンテナヤード：コンテナ内
4	名古屋市港区 （名古屋港）	9月1日	事業者敷地内：コンテナ内	約 1,000 個体 （女王アリ 1 個体）	天津港 （中国）
5	弥富市 （名古屋港）	10月3日	コンテナヤード：全国 68 港湾調査（踏査）	2 個体	不明
6	弥富市 （名古屋港）	11月7日	空コンテナヤード：コンテナ内	7 個体	中山港 （中国）
7	飛島村 （名古屋港）	(H30) 7月5日	事業者敷地内：コンテナ内等	約 20 個体	廈門港 （中国）
8	瀬戸市	7月20日	事業者敷地内：コンテナ内	約 350 個体 （女王アリ、さなぎ含む）	黄埔港 （中国）
9	小牧市	8月22日	事業者敷地内：コンテナ内	約 20 個体	南沙港 （中国）
	弥富市 （名古屋港）	8月23日	コンテナヤード：コンテナ内等	約 50 個体	
10	愛西市	(H31) 2月18日	事業者敷地内：倉庫	約 30 個体	フォス＝シュル＝メール港 （フランス）
	飛島村 （名古屋港）	2月19日	コンテナヤード：コンテナ内等	2 個体	

○県として、以下のとおり対応を行った。

・国への要請

要請日	要請先	主な要請内容
7月10日、12日	環境省 国土交通省	・早期発見・防除徹底のための対策実施 ・積出国での予防的防除働きかけ
11月6日	環境省 国土交通省	・早期発見・防除徹底のための対策実施 ・積出国での予防的防除働きかけ

・ホームページによる県民の方々への注意喚起

・ヒアリ相談窓口の設置

相談件数：68 件（平成 30 年度（2 月 25 日現在））

- ・以下関係団体等への注意喚起・協力要請
庁内各部局、市町村、荷主・運送事業者の関係団体等